

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 2007 年度事業報告書  
2007 年度 (2007 年 4 月 1 日 ~ 2008 年 3 月 31 日)

2007 年度は、年度当初に「認定 NPO 法人」となり、新聞への広告掲載等を含めた広報活動を積極的に行いました。秋には、「かながわボランティア活動奨励賞」を受賞し、テレビ番組で活動が紹介されるなど、これまでの活動の成果、公平性に対する評価をいただいた 1 年となりました。

しかしながら、子どもたちを取り巻く環境は依然厳しく、子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げていくために、11 月の児童虐待防止推進月間には、児童虐待やいじめをテーマにした朗読劇を開催しました。声優プロダクション、企業、マスコミ、行政等、多くのご支援と連携をいただいたお陰で、テレビCMやタウン紙の記事掲載など、様々な方法での広報が実現し、約 1,800 名のご参加と深い感動を生みだして、成功をおさめることができました。

また、5 度目となる NPO 助成の公募・選考を行い、総額 3,500,000 円を助成しました。メールマガジン、広報紙発行等の広報活動を継続して取り組むと同時に NPO の団体検索が行える「子どもの居場所情報箱」等の WEB サイトの充実を図り、携帯モバイルサイトの開設準備を行いました。

## 1 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

2007 年度寄付総額：6,954,747 円

寄付協力組織数：71 件

個人寄付者数：124 件

種別	金額(円)	割合(%)	協力個人数	協力組織数
企業からの寄付	3,036,790	44		11
個人からの寄付	1,354,355	20	56	
他組織のチャリティイベント等からの寄付	1,064,573	15		9
募金箱	361,744	5		31
職域での寄付	333,500	5		3
定期定額募金 (ゆうちょ銀行からの自動払込寄付)	265,750	4	55	
応援商品寄付・書籍売上からの寄付	138,426	2	5	4
イベント出店を通じての寄付	122,024	2		8
アニバーサリー寄付	110,000	2	2	
その他	106,886	1		4
マイバッグ寄付プログラム	48,699			1
インターネット寄付	12,000		6	
合計	6,954,747	100	124	71

( 1 ) 2007 年度の寄付協力

2007 年 4 月にみなとみらいに開館した横浜アンパンマン子どもミュージアムに募金箱設置のご協力をいただいたり、企業、スポーツ選手の社会貢献活動のご寄付など、大勢の人に呼びかけ、働きかけるタイプの寄付協力が目立ちました。企業からの寄付額は、認定 N P O 法人の取得の効果からか、前年に比べ伸びています。

また、寄付受入れの環境協力として、横浜信用金庫口座への窓口振込手数料が免除となりました。これで、手数料免除の口座は、川崎信用金庫口座と併せて二つとなりました。

( 2 ) イベント・キャンペーンの実施と他団体イベントへの出展

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、様々な組織のご協力、ご協賛を得て、「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演」を開催しました。広報には、テレビ C M や、タウン紙への掲載協力など、多様なメディアからのご支援をいただき、広報活動を展開することができました。

また、6 月には、労働組合のご支援で、全 5 段の新聞広告掲載をすることができました。

多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合等へファンドの認知を高めるよう取り組みました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」～児童虐待防止チャリティ公演】

朗読劇事業の総収入は 5,945,000 円、総支出は 4,866,232 円で、収支差額 1,078,768 円は、寄付金収入と同様に神奈川県子ども未来ファンド助成の原資としました。

開催日程： 2007 年 11 月 3 日 ( 土 ) 昼・夜 2 回公演

会 場： 関内ホール 大ホール

参加者数： 約 1,800 人

内 容： いじめ、児童虐待をテーマにした物語「ハッピーバースデー」朗読劇

主 催： 神奈川県子ども未来ファンド・オフィスデュオ・関内ホール

協 賛： エバラ食品工業 ( 株 ) ( 株 ) 川口、( 株 ) 金の星社、( 株 ) ダイイチ

助成協力： N P O 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド、

( 財 ) 神奈川県厚生文化事業団、( 財 ) 横浜市安全教育振興会

親子招待協賛：( 株 ) タカナシ乳業、( 株 ) 山陽印刷、関東陸送 ( 株 ) ( 有 ) カイショー、横浜西ロータリークラブ、川崎中原ロータリークラブ、連合神奈川、全労済神奈川県本部、横浜地域連合、自治労神奈川県本部、神奈川県教職員組合、横浜市教職員組合、川崎市職員労働組合、地域作業所ダンボ職員一同、まめ基金プロジェクト、小林三千代、田村宣子、田村悦子、嶋田昌子、村尾初子、吉弘正信、川嶋朋美、岩永牧人、藤井礼子、瀬戸妙子、熊谷和夫、樋口愛子、池田小霧、梅本千尋、井上従子、他匿名 5 名

チャリティオークション協力：石井琢朗、三浦大輔 ( とともに横浜ベイスターズ選手 )

マスコミ紹介：テレビ、ラジオ紹介、新聞・雑誌・タウン紙 記事掲載 計 22 件

t v k ・みなとみらいスクリーンネット 「チャリティ朗読劇」スポット C M 放送

放送時期：2007 年 9 月 14 日～11 月 3 日 ( 51 日間 毎日数回放送 )

放送協力：( 株 ) テレビ神奈川、( 株 ) t v k コミュニケーションズ

t v k 「ハマランチョ」「ニュースハーバー」での紹介

「ニュースハーバー」 放送日：2007 年 10 月 3 日 朗読劇告知

「ハマランチョ」 放送日：2007 年 10 月 26 日 朗読劇告知

放送協力：( 株 ) テレビ神奈川、( 株 ) t v k コミュニケーションズ

F M ヨコハマ プリーズでの「チャリティ朗読劇」開催紹介

放送日：2007 年 10 月 26 日番組内の約 10 分

放送協力：横浜エフエム放送 ( 株 )

記事掲載 16件

横浜市広報、神奈川新聞情報ストリート、神奈川新聞デスクノート、朝日新聞マリオン、日本経済新聞インフォメーション、読売新聞、朝日新聞、朝日中学生ウィークリー、はまかぜ（さかえ・とつか版・洋港版）、湘南ホームジャーナル、ぱど（関内・南区エリア）、リクルート社「ケイコとマナブ」、フリーペーパー「Kei」、まんがナビマガジン「ぱふ」、女子専用アニメマガジン「PASH!」、アリスセンター「たあとる通信」

#### 【神奈川子ども未来ファンドについての広報】

神奈川新聞 全5段広告 掲載

掲載日：2007年6月15日

掲載協賛：川崎市労働組合連合会

t v k「神奈川コンシェルジュ」(神奈川県広報番組)での紹介

放送日：2008年2月24日 ボランティア活動奨励賞受賞団体紹介

放送協力：神奈川県

記事掲載

神奈川新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞

#### 【展示・広報・出店等での参加】

第78回かながわ中央メーデー

開催日程：2007年4月28日（祝）

会場：みなとみらい臨港パーク

出店内容：バルーン募金、活動紹介、募金活動

主催：同実行委員会（事務局連合神奈川）

横浜F・マリノス ホームゲーム トリコロールランド

開催日程：2007年8月11日（土）、9月22日（土）

会場：日産スタジアム東ゲート前広場

出店内容：飲料販売と募金活動、活動紹介

主催：横浜マリノス(株)

2007 児童労働撲滅キャンペーン in 神奈川

開催日程：2007年9月15日（土）

会場：横浜そごう正面玄関前広場

出店内容：広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布

主催：NTT労働組合

フリフリフリマ（青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動）

開催日程：2007年9月9日（土）

会場：神奈川県立青少年サポートプラザ

出店内容：飲料販売と募金活動、活動紹介

主催：同実行委員会

ヨコハマふるさとまつり

開催日程：2007年9月29日（土）

会場：横浜公園（横浜スタジアム横）

出店内容：バルーン募金、活動紹介、募金活動

主催：同実行委員会（事務局横浜市労働者福祉協議会）

#### モトスミ・ブレイメン通り商店街 フライマーケット

開催日程： 2007年10月7日(日)  
会場： モトスミ・ブレイメン通り商店街(川崎市中原区)  
出店内容： 商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街ピンバッジチャリティ販売、活動紹介、募金活動  
主催： モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合  
協力： モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会

#### 横浜だがしや楽校 2007

開催日程： 2007年10月26~27日(土日)  
会場： パシフィコ横浜展示ホール  
参加内容： 活動紹介  
主催： 横浜だがしや楽校実行委員会  
協力： 商店街ハナノアナ

#### 第24回ダンボふれあいバザー

開催日程： 2007年11月23日(祝)  
会場： 作業所ダンボ周辺(横浜市保土ヶ谷区和田町)  
参加内容： 活動紹介・ブース運営  
主催： 地域作業所ダンボ・福祉を考える会

#### 横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ

開催日程： 2008年1月27日(日)  
会場： マリノスタウン(みなとみらい地区 新高島町)  
出店内容： バルーン募金、活動紹介、募金活動  
協力： 横浜マリノス(株)

#### いのちの大切さについて考えるキャンペーン 青少年フェスタ

開催日程： 2008年3月16日(日)  
会場： テアトルフォンテ(横浜市瀬谷区)  
出店内容： 活動紹介展示  
主催： 神奈川県青少年協会

## 2. 民間非営利組織への助成・技術支援

### (1) 2007年助成対象団体への技術支援

助成対象団体に、助成金を効果的に活用してもらうことを目的に実施をしました。

対象： 2007年神奈川子ども未来ファンド助成対象団体(うち希望した4団体)  
内容： NPO実務(会計、事務局業務の効率化、広報)・会議の持ち方について  
方法： 団体の希望に応じて、以下の専門家から1名が、団体を訪問。相談、アドバイスを行いました。(ファンド事務局が同行)

#### 【相談対応をいただいた専門家の方々】

- \* 青木将幸氏(公益非営利支援センター東京(はむ)共同代表)
- \* 細野由美子(税理士・ファンド理事)
- \* 川崎あや(まちづくり情報センターかながわ事務局長(実施当時)・ファンド理事)

( 2 ) 2008 年助成選考委員会設置と選考

各方面の専門家による 2008 年神奈川子ども未来ファンド助成選考委員会を設置し、選考委員会にて選考基準、選考方法を決定の後、対象団体の選考を行いました。

【2008 年助成選考委員】

委員長： 竹下宏之氏（神奈川日産自動車株式会社前会長）  
副委員長： 岩船弘美氏（男女共同参画センター横浜北館長）  
委員： 青木将幸氏（公益非営利支援センター東京（はむ）共同代表）  
小坏淳子氏（横浜弁護士会子どもの権利委員会委員）  
土谷みち子氏（関東学院大学人間環境学部教授）

【2008 年助成選考委員会開催状況】

第 1 回 2007 年 10 月 10 日（水）13 時～15 時 かながわ県民活動サポートセンター会議室  
第 2 回 2008 年 2 月 18 日（月）9 時～13 時 かながわ県民活動サポートセンター会議室

( 3 ) 2008 年助成公募広報、助成説明会の開催

2008 年助成を県内 N P O へ広く広報し、個別団体からの事前相談に対応をしました。

今年度は、県内の N P O 支援センターへ働きかけ、複数の資金リソースを情報提供する形態の助成説明会を、各地支援センターと連携して開催しました。

【2008 年助成 助成説明会】

横浜市開催（平日昼）

開催日程： 2007 年 10 月 26 日（金）  
会場： 横浜市市民活動支援センター会議室  
内容： 神奈川子ども未来ファンドの他、キリン福祉財団、モバイル・コミュニケーションファンド、横浜市社会福祉協議会の助成事業の紹介  
共催団体： 横浜市市民活動支援センター、アリスセンター

相模原開催

開催日程： 2007 年 11 月 23 日（金）  
会場： けやき会館会議室  
内容： 神奈川子ども未来ファンドの他、さがみはら社会貢献市民ファンドゆめの芽、神奈川ボランティア活動推進基金 21 の助成事業の紹介  
共催団体： さがみはら市民活動サポートセンター

川崎開催

開催日程： 2007 年 11 月 30 日（金）  
会場： 川崎市多摩区総合庁舎会議室  
内容： 神奈川子ども未来ファンドの他、県提案型協働事業、川崎市民提案型協働事業の紹介  
共催団体： N P O 法人ぐらす・かわさき

横浜開催（平日夜）

開催日程： 2007 年 12 月 5 日（水）  
会場： かながわ県民活動サポートセンター会議室  
内容： 神奈川子ども未来ファンド助成の紹介  
\* ファンド単独開催

(4) 2008年助成対象団体の決定と実施

17団体から応募があり、選考委員会の選考に基づき、以下7団体に総額3,500,000円を助成することを決定し、助成を行いました。

[2008年助成対象団体一覧] 助成総額 3,500,000円

	団体名	事業名 < > 内活動領域	都市名	助成金額
1	ことぶき学童保育	<学童保育、外国籍児童支援>【継続】 ことぶき子ども広場事業・たより多言語化	横浜	462,000
2	片倉うさぎ山公園あそび場 管理運営委員会	<冒険遊び場事業> 事務局の開設・プレイパーク運営強化事業	横浜	600,000
3	ウエスト神奈川 女性の人権を守る会	<DV被害者のシェルター> 子どもの心身ケアのため、子ども担当スタッフの専門性強化	西湘地区	350,000
4	教育支援グループ『Ed.ベンチャー』	<外国籍児童の学習支援> 教育支援活動の周知と事務局機能の強化を通じた安定的運営の実現	大和	700,000
5	(特) 苗場つぼみの会	<障がいのある子どもたちの余暇支援> 障害児学童余暇支援事業	横浜	700,000
6	(特) アンガージュマン・よこすか	<不登校、ひきこもり、就労支援> 本屋で子どもたちに読み聞かせ事業	横須賀	350,000
7	(特) くじらぐも	<障がいのある子どもたちの学習支援> 教育現場における支援方法講習会	横浜	338,000
			計	3,500,000

3. 子ども・若者、子育てに関する活動調査と情報収集・提供

(1) WEBサイトの充実

子どもの居場所情報を検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱(以下「情報箱」)」は、郵政公社年賀寄付金助成をいただき、登録団体数の増加、情報の更新、携帯モバイルサイト開設の準備など充実のための取り組みを実施しました。

WEBサイト 2007年度末カウント数 57,771(2008年3月31日現在)

(2) メールマガジン、広報紙発行

年4回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを活用し、ファンドの活動報告や、いただいたご支援、助成対象団体の紹介などを行いました。

メールマガジン 月間+特別号 計15回発行、配信登録数約569件(2008年3月31日現在)

広報紙「ハンズ to ハンズ」14号~17号

14号(3,000部)15~17号(2,000部)発行

(3) 中小企業の子ども・子育て家庭に対する貢献取り組み調査(神奈川県健康福祉部子育て支援対協働事業)

神奈川県子ども・子育て支援推進条例が施行されたのを背景に、行政、市民、関係機関、企業・事業所が連携して子ども・子育て支援を進めていくために、中小企業の子ども・子育て家庭に対する貢献活動調査を実施し、県内17の事業所にヒアリングを行いました。本事業は、提案型協働事業として神奈川県との協働で実施しました。

(4) 講師対応

ファンドが、2007年度に対応した講師依頼や各種審議会・委員会は、次の通り  
[講師・パネリスト等]

神奈川県婦人会館主催講演会(2007年7月5日)

世田谷区青少年委員OB会・世田谷区教育委員会主催講演会(2007年7月6日)

横浜市栄区区民利用施設協会主催講演会(2007年9月18日)

綾瀬市民生委員児童委員協議会主催講演会(2007年9月27日)

岩手県岩手県・青少年活動交流センター・男女共同参画センター

・岩手県青少年育成県民会議主催講演会(2007年10月7日)

千葉県館山市・木更津、館山人権啓発活動地域ネットワーク協議会・千葉地方法務局館山支局

・千葉地方法務局木更津支局・館山人権擁護委員協議会主催講演会(2007年10月13日)

横浜西ロータリークラブ例会宅話(2007年11月14日)

横浜市神橋小学校PTA学年学級委員主催講演会(2007年11月19日)

横浜市鶴ヶ峰中学校・不動丸小学校PTA主催講演会(2007年12月1日)

横浜市神奈川区幼・保・小教育交流事業実行委員会主催講演会(2007年12月6日)

横浜市港北福祉保健センター主催講演会(2007年2月16日)

横浜市立大学国際総合科学研究科ゲスト講師(2007年5月12日)

松蔭大学ゲスト講師(2007年6月13日)

NPO支援財団研究会主催シンポジウムパネリスト(2007年7月5日)

横浜市体育協会主催地域クラブ・アシスタント養成講座講師(2007年9月18日)

横浜市子育て支援拠点フォーラム分科会コーディネイター(2007年12月3日)

神奈川県主催かながわコミュニティカレッジNPOマネジメントセミナー講師(2007年11月22日)

横浜市経済観光局主催ソーシャル・アントレプレナーセミナー講座講師(2007年12月18日)

千葉県佐倉市主催市民協働推進講演会講師(2007年3月8日)

[各種審議会・委員会]

横浜市児童福祉審議会委員

横浜市男女共同参画推進審議会委員

横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員

働きやすく子育てしやすい横浜の企業認定委員会委員

横浜市両立支援アドバイザー派遣事業検討会(会長)

横浜市港北区ふるさとサポート事業運営委員

横浜市親と子のつどいの広場運営協議会委員

横浜市ボランティアセンター運営委員

全労災地域貢献助成事業子ども分野選考委員

#### 4. 神奈川県子ども未来ファンドの組織基盤強化に関する取り組み

##### (1) 認定NPO法人の取得

ファンドの信頼性の向上と資金調達力を高めるために、認定NPO法人を取得し(今回の認定期間: 2007年4月1日から2009年3月31日) その広報につとめました。

内閣府からの要請を受け「特定非営利活動法人の活動基盤強化のための懇談会」に出席し、認定NPO法人制度の広報や改善のための取り組みにも協力をしました。

##### (2) 賛同人の増加

外部に影響力のある方々にファンドの応援団になっていただくため、昨年に引き続き積極的に賛同人の依頼を行いました。

現在の賛同人(2008年3月31日現在)

神奈川県知事、横浜市長、川崎市長、ゆず 北川悠仁・岩沢厚治(ミュージシャン)、石井琢朗・三浦大輔・村田修一(横浜ベイスターズ選手)、野村道子((有)オフィス・デュオ代表取締役、賢プロダクション相談役)、篠崎孝子(株)有隣堂相談役・元神奈川県公安委員長)、岩宮陽子(株)飾一会長)、鈴木一男(株)ダイイチ代表取締役社長)、神田捷夫(前株)京急百貨店顧問)、柴田愛子(児童書作家)、汐見稔幸(白梅学園大学学長)、土谷みち子(関東学院大学教授)、加藤彰彦(沖縄大学教授)、片岡玲子(立正大学教授)、鈴木節夫(横浜市教育委員)、峪文隆((財)横浜市安全教育振興会理事長)、前田正子((財)横浜市国際交流協会理事長)、横浜ベイスターズ、横浜F・マリノス

##### (3) 日産NPOラーニング奨学生を受入

日産自動車株式会社が実施する社会貢献プログラム「日産NPOラーニング奨学生制度」に協力し、学生の受け入れを行いました。2007年度インターン生、荒木美奈子さんには、助成対象団体の訪問レポートや「子どもの居場所情報箱」の更新作業、中小企業調査など、民間ファンドの様々な活動を体験してもらうことができました。

##### (4) 横浜市市民活動支援センター「ボランティア夏塾」塾生を受入

横浜市市民活動支援センターが実施する「ボランティア夏塾」に協力し、3度目の塾生受け入れを行いました。2007年度インターン生、清水健太さん、黒岩茉莉さんには、「子どもの居場所情報箱」の更新作業、各種イベントでの広報・募金活動などの活動体験してもらうことができました。

##### (5) 会員制度の見直し

寄付協力の方法をわかりやすくするために、会員制度と併せて寄付メニューを整理しました。

###### 【2007年3月31日時点の会員数】

正会員	44名(前年度比+8名)
子ども応援会員	99名・組織(自動払込会員55名含)

以上